

■海外旅行保険は入るべきなのか？

- ◆海外では、日本と異なり治療費が非常に高い
- ◆実際に事故にあった場合には、治療費だけでなく、家族の渡航費などの費用もかかること、モノを壊してしまった場合には弁償費用もかかる

⇒いざという時のための海外旅行保険は加入しておくべき。こうした費用は通常は保険金の対象となる

■クレジットカードに付いている保険ではだめなのか？

- ◆クレジットカードに付いている保険は、カードによって異なる
 - ◆クレジットーカードによっては海外旅行保険が付いていないものもあるため要注意
 - ◆補償内容や適用条件もカードの種類によって異なる
- ⇒ご自身が保有されているクレジットカードを確認してみてください
クレジットカードの補償だけに頼るのはリスクが残るといえる

クレジットカードについての使い方や注意点については、詳しくは「日本クレジットカード協会」のホームページを参照のこと。<http://www.jcca-office.gr.jp/>

■健康保険による対応もできるのでは？

- ◆健康保険や国民健康保険は海外旅行中の治療費にも使用が可能
- ◆ただし、現地の病院では一旦治療費を全額支払う必要があり、帰国後に「療養費支給申請」を行う必要がある
 - ⇒手続きに時間がかかる点や、国内での健康保険の適用と同様、全ての治療費が戻ってくるわけではない点がデメリットといえる
 - ⇒海外での治療においては、言語の問題もつきまとう
- ◎こうした点をカバーしてくれるのが「海外旅行保険」といえる

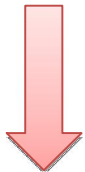
- ✓海外旅行保険で十分な体制を。万が一の場合でも安心のできる旅行へ
- ・安全で楽しい海外旅行であることが一番であるものの、何より万が一の場合にも『保険に入っていて良かった』という安堵感が持てることが海外旅行保険の大きな役割といえる
- ・海外旅行に行くにあたって、パスポートの次に海外旅行保険は大事といえるかもしれないぐらい重要なものともいえるのでは？

■実際に海外で病気やケガをしたらどう対応？（一般例）

①保険会社の海外窓口／アシスタンスセンターへ連絡



②状況を説明



③その後の対応

- ・日本語のわかるスタッフにまずは連絡
万が一の場合に備えて、窓口すぐに電話ができるように電話番号はひかえておくこと

- ・実際の状況を詳しく説明
- ・そうすると、病院や救急車の手配など必要な処置を取ってくれる

- ・保険会社のスタッフが病院等とコンタクトをとり、治療内容などを通訳してくれる
- ・ご自身が依頼すれば、日本の家族への連絡なども行ってくれる